

キャリアアップに資する教育訓練計画

テクノ環境開発株式会社

| 訓練内容 | 1年目 (計 9 時間) | 2年目 (計 9 時間) | 3年目 (計 19 時間) | 4年目以降 (計 16 時間) |
|--------------------|--|---|--|--|
| 新規採用者訓練 (1 時間) | <p>社会人マナー教育 (1 時間)</p> <p>社会人としての心構え、挨拶、身だしなみ等、ビジネスマナーの教育。</p> | | | |
| | | | | |
| 作業実務訓練 (8 時間) | <p>人工作業教育 (2 時間)</p> <p>ホース筒先での吸引作業時の危険予知訓練 (KYT) および効率良く吸引させる為の技術向上教育。</p> | <p>超強力吸引車教育 (3 時間)</p> <p>吸引作業での危険のポイントおよび効率よく吸引させる為の技術向上教育。</p> | <p>JET 洗浄作業教育 (3 時間)</p> <p>JET 作業 (高圧水による洗浄作業) での危険のポイントおよび対象物に最適なノズル径・水量等の基本的な教育。(高圧洗浄特別教育資料より抜粋)</p> | |
| | | | | |
| | | | | |
| 車両運転実務訓練 (9 時間) | <p>車両始業点検教育 (1 時間)</p> <p>車両の作業前点検要領の教育。</p> | | <p>超強力吸引車吸引圧送作業操作教育 (3 時間)</p> <p>超強力吸引車吸引圧送作業における、作業機の基本操作および適切な作業手順の教育。</p> | <p>JET 洗浄作業操作教育 (3 時間)</p> <p>JET 洗浄作業における、作業機の基本操作および適切な作業手順の教育。</p> |
| | <p>添乗教育 (2 時間)</p> <p>管理者が添乗する事により、運転技術の向上を図る教育。</p> | | | |
| 訓練内容 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目以降 |

| | | | | |
|---------------------|--|--|--|---|
| リーダー養成研修 (14時間) | | 類似災害防止研究教育 (3時間) | | 監督者アクション教育 (8時間) |
| | | 他社の災害事例を参考に、自社作業での類似する作業からKYT4ラウンド方式で重要危険ポイントを設定し、対策・重点実施項目を考える教育。 | | 安全手順書の作成及び作業員への説明方法、現場の具体的な改善目標の設定や実践方法についての教育。 |
| | | | 作業指揮者教育 (3時間) | |
| 作業計画・実務訓練 (11時間) | | | JFEスチール主催の「作業指揮者教育」を受講、基本的な安全ルールおよび現場作業指揮のスキル習得の為の教育。 | |
| | | | ミーティングの進め方教育 (4時間) | 配車・作業経計画教育 (3時間) |
| | | | JFEスチール主催の「ミーティングの進め方教育」を受講。作業当日の作業指示および安全指示伝達事項の教育。 | 人員配置および配車の計画の立て方を教育。 |
| | | | パソコン教育 (2時間) | 工場・元請との調整作業教育 (2時間) |
| | | | パソコン (Excel・Word・Outlook・PowerPoint) の操作方法および作業計画・配車計画等書類作成の教育。 | 工場・元請からの依頼 (作業場所の安全確保および資機材の準備など) の調整作業教育。 |
| 法令等に関する研修 (10時間) | 労働安全衛生法の教育 (3時間) | JFEスチール教育 (3時間) | JET作業に関する関係法令教育 (4時間) | |
| | 「安衛法と安全管理のしくみ」「機械の安全対策」「通路と足場」「墜落・飛来落下災害の防止」「火気・危険物」「職業性疾病予防と公害防止」の安全に作業するための基礎知識の教育 | JFEスチール規程集「管理組織」「作業体制」「設備管理」「個別作業」「条件設定」「重機等」「電気設備」「標識」「その他」の具体的な推進に関し必要事項の教育。 | 「消防法」「毒物及び劇物取締法」「水道法」「下水道法」「道路交通法」「大気汚染防止法」「騒音規制法」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「環境基本法」「水質汚濁防止法」「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」のうち、JET洗浄に関する部分 | |